



エコ・ファーストの約束 **更新書**

環境先進企業としての地球環境保全の取り組み

環境大臣 西村 明宏 殿

令和4年10月31日

株式会社川島織物セルコン
代表取締役社長

木村 弘一

川島織物セルコングループは、グループ一丸となった環境保全活動によって、社会的責任を果たし、持続可能な社会の実現に向けて、次の取り組みを推進します。

1. 温室効果ガス排出量を実質ゼロの実現に向け、すべての事業活動においてCO₂排出量の最小化を図ります。

温室効果ガス排出量を2050年までに実質ゼロに向けての活動を実施していきます。

- ・生産工場や事業所の、空調設備・照明設備の最新化や、再生エネルギーの導入を進めていきます。
- ・2019年度と比べて、海洋に廃棄された漁網などを含んだ再生糸を使用したタイルカーペットのアイテム比率を2030年度も50%以上で維持します。
- ・SBT認定を2023年までに取得し、サプライチェーン全体での温室効果ガス排出量の削減に取り組み、サプライチェーン全体の温室効果ガス排出量の把握・管理を行います。

Scope 1+2では 2030年に、2019年度比で40%削減します。

Scope 3では 2030年に、2019年度比で30%削減します。

2. 循環型経済への移行の実現のための取り組みを推進します。

自社生産工場並びにグループ生産工場での廃棄物のゼロエミッションを維持すると共に、廃棄物の有効利用などによる有価物化を通じてゼロエミッションを推進します。そして、環境配慮型商品の展開を通じて循環型社会の移行に貢献していきます。

- 市原事業所（自社工場）廃棄物最終処分率 0% 維持（1%未満）
- 縫製工場 廃棄物最終処分率 0% 維持（1%未満）
- ・事業所での廃棄物の分別などを進め従業員一人々の取り組みを重視します。
- ・ペットボトルなどのリサイクル繊維を使った商品の開発を進め、2019年度と比べて2030年にはアイテム比率で3倍以上を目指します。
- ・広域認定によるケミカルリサイクルシステム実施拡大を進めます。

3. 地域の学校などへの環境学習や従業員への環境教育を通じて、環境教育の振興を推進します。

地域の市民・学校など社外の方に環境学習や実践活動の場や機会を提供し、地域の人材育成に貢献していきます。

- ・京都の小学生への環境教育の実施
2002年から実施、今後ブラッシュアップし、2校/年を目標とします。
- ・地域の小学校への環境学習
地元の小学校に「地域の河川と工場」、「企業のSDGsへの取り組み」について考えるきっかけとなる教育を提供し、人材育成に貢献していきます。

社内において従業員に対し環境教育を定期的に行ったり、従業員が環境に関するボランティア活動等社会貢献活動に取り組んだり、参加しやすい職場の環境づくりに取り組みます。

- ・集合教育の定期的実施
新入社員・中途採用者への定期的な環境教育の実施並びに全従業員への環境関連教育を実施します。
- ・環境に関するボランティア活動への取り組み並びに参加しやすい環境づくりに取り組みます。

株式会社川島織物セルコンは上記取組の進捗状況を確認し、その結果についてはホームページに定期的に公表すると共に、環境省に報告いたします。